

平成23年度 食品の安全性に関する有害化学物質の サーベイランス・モニタリング年次計画

- (1) サーベイランス・モニタリングは、農林水産省が定めた「サーベイランス・モニタリングの計画・実施及び結果の評価・公表に関するガイドライン」に基づいて実施する。
- (2) サーベイランス・モニタリングの実施に当たって、有害化学物質リスク管理基礎調査事業により分析を委託する場合は、精度管理を行うこと及び妥当性が確認された分析法を用いること等を条件として競争入札を行い、分析機関を選定する。
- (3) 危害要因を含有する可能性がある食品又は飼料の範囲がわからない場合や、十分なデータが存在せず、汚染状況が不明な場合は、予備調査を実施する。

(サーベイランス)

危害要因	調査の趣旨	具体的な調査対象	最低調査点数
カドミウム	国産農産物のカドミウム濃度実態を詳細に把握し、今後のリスク管理措置の検討にあたって活用	大豆	600
	平成7～14年度の調査において比較的高濃度のカドミウムを含有していた水産物を対象に実態を把握	ベニズワイガニ(筋肉)	100
		ベニズワイガニ(内臓)	100
ヒ素	カドミウム吸収抑制対策と両立するヒ素低減技術開発の基礎データとする	玄米、茎葉、土壌等	300
ダイオキシン類	畜産物の残留の主要な経路である飼料についての含有実態を把握	動物性油脂	検討中
		魚油	
		魚粉等	
	排出抑制対策に伴うダイオキシン類濃度の経年変化を把握	カタクチイワシ	30
		コノシロ	30
		マサバ	30
		カンパチ(養殖)	30
		ブリ(養殖)	30
		ブリ(天然)	30
	リスク管理措置の有効性を検証するため、国産麦類の全国的な汚染状況及び年次変動を把握	小麦	120
		大麦	100

(サーベイランス)

危害要因	調査の趣旨	具体的な調査対象	最低調査点数
3-アセチルDON 及び15-アセチルDON	国産麦類を調査し、全国的な汚染状況の把握、年次変動及びDONの含有量との相関を確認	小麦	120
		大麦	100
4-アセチルNIV	国産麦類を調査し、全国的な汚染状況の把握、年次変動及びNIVの含有量との相関を確認	小麦	120
		大麦	100
T-2トキシン及びHT-2トキシン	国産麦類を調査し、全国的な汚染状況及び年次変動の把握	小麦	120
		大麦	100
ゼアラレノン	国産麦類を調査し、全国的な汚染状況及び年次変動の把握	小麦	120
		大麦	100
フモニシン	飼料への基準値設定の必要性を検討するため、飼料用とうもろこし等における含有実態を把握	配合飼料	検討中
		主要穀類等	
アクリルアミド	作成予定の低減指針による効果、事業者による低減の取組を把握するための基礎データを得るために、主要品目の含有濃度を把握	日本人においてアクリルアミドの摂取寄与が高いと推定される加工食品(10品目程度)	各品目50点程度
アクリルアミド	ばれいしょ加工品中のアクリルアミド含有濃度の季節変動・年次変動を把握	ポテトチップス	216
		成型ポテトチップス	108
		フライドポテト	162
クロロプロパノール類(及びグリシドール)	平成20年に実施した指導の効果を確認するために含有実態調査を実施 また、アルカリ処理によって遊離グリシドールが生成しないことを確認するための調査を併せて実施	アミノ酸液	50
		しょうゆ	50

(サーベイランス)

危害要因	調査の趣旨	具体的な調査対象	最低調査点数
フラン	生成機序を解明し、低減対策を検討するため、業界団体と連携して製造工程で試料を抜き取るなど基礎データを収集するための調査を実施	しょうゆ	200
		みそ	200
	海外でフランの含有が報告されている食品で国内のデータがない品目及び製造工程上フランの含有が懸念される品目について、国内における含有実態の傾向を把握するための予備調査を実施	発酵調味料	30
		ポテト系スナック	30
		小麦系スナック	30
		米菓・米加工品	30
		魚類節類(鰹節、さば節等)	30
		シリアル食品	30
		麦茶(煎り麦、麦こがし)	30
		ジャム類	30
		肉類加工品(ハム、ソーセージ等)	30
		米飯	30
		パン類	30
ヒスタミン	水産物の中でヒスタミンが比較的高濃度に検出される加工品を中心に調査を行い、加工形態別のヒスタミン含有濃度を把握	乾製品(開き)	サバ 20 サンマ 20
		乾燥品(丸干し)	サンマ 20
		燻製品	マグロ 20 サンマ 20
		缶詰(水煮)	サバ 20 サンマ 20
		缶詰(油漬け)	マグロ 20
		調味・加工品(味噌・粕漬け)	マグロ 20 サバ 20
		乾燥・焙煎加工品(味噌干し)	マグロ 20 サバ 20 サンマ 20
		発酵食品(糠漬け)	サバ 20 サンマ 20
ポリブロモジフェニルエーテル(PBDE)	日本人が摂取する量に関するデータが不足しているため、トータルダイエットスタディを実施し、化合物毎の推定摂取量を把握	マーケットバスケット方式により全食品群＋飲料水を対象に実施	検討中
パーフルオロオクタン酸(PFOA)及びパーフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)	日本人が摂取する量に関するデータが不足しているため、トータルダイエットスタディを実施し、それぞれの推定摂取量を把握	マーケットバスケット方式により全食品群＋飲料水を対象に実施	検討中

(モニタリング)

危害要因	調査の趣旨	具体的な調査対象	最低調査点数
カドミウム	違反品の回収及び基準値の見直し	配合飼料	検討中
		乾牧草	
		動物性飼料(魚粉、肉骨粉等)	
総水銀	違反品の回収及び基準値の見直し	配合飼料	検討中
		乾牧草	
		動物性飼料(魚粉、肉骨粉等)	
鉛	違反品の回収及び基準値の見直し	配合飼料	検討中
		乾牧草	
		動物性飼料(魚粉、肉骨粉等)	
ゼアラレノン	違反品の回収及び基準値の見直し	配合飼料	検討中
		乾牧草	
		主要穀類等	
デオキシニバレノール	違反品の回収及び基準値の見直し	配合飼料	検討中
		乾牧草	
		主要穀類等	